

みんなの
臨床検査

検査で守るあなたの健康

www.jpclt.org



腫瘍マーカー

血液、尿などの臨床検査



臨床検査振興協議会
Japanese Promotion Council for Laboratory Testing

腫瘍マーカーとは？

腫瘍マーカーとは、がんの細胞から出てくる物質や、がんの時に変化する物質の総称で、血中の濃度を測定して、診断や治療に使っています。現在数多くの種類の腫瘍マーカーが、臨床検査の場で使われています。

腫瘍マーカーはどのような目的で使われるの？

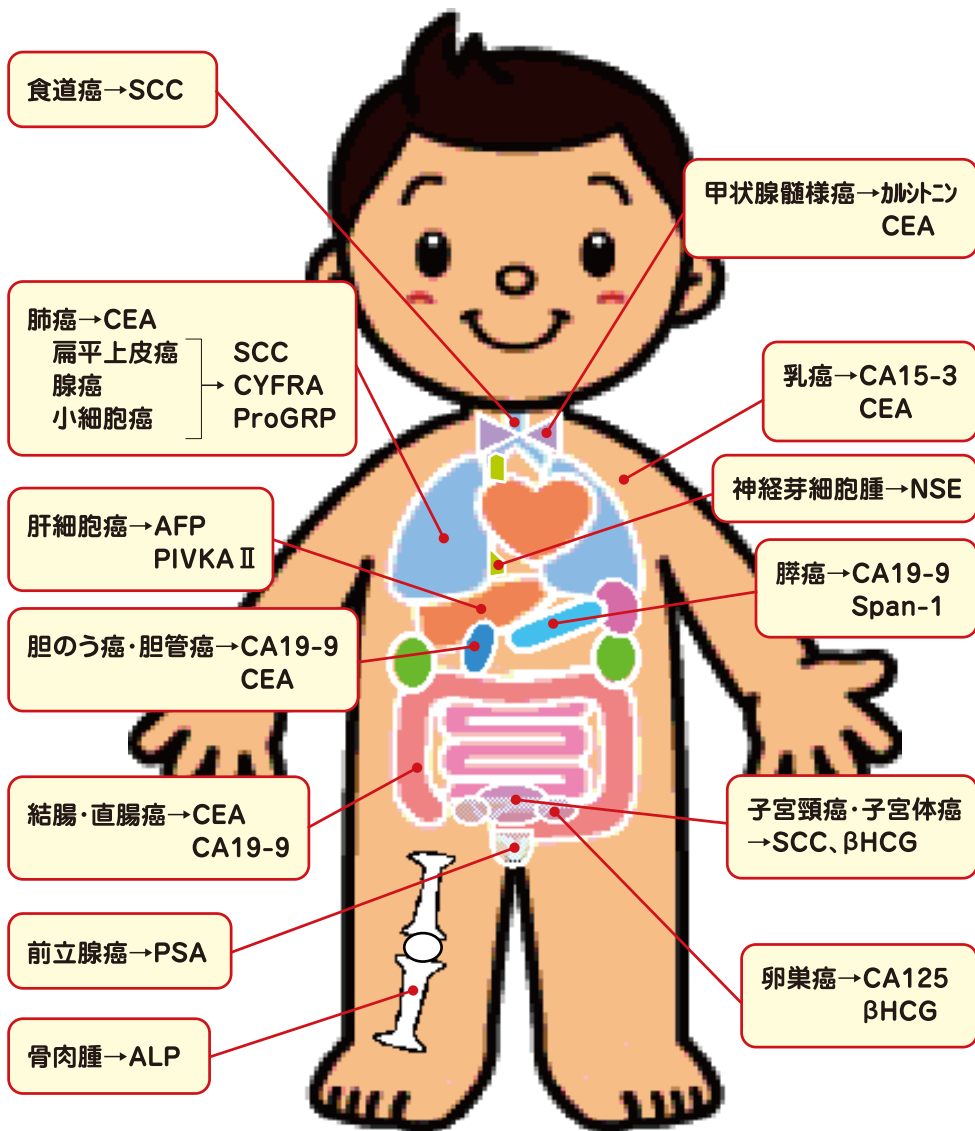
1. がんを発見するためのスクリーニングとして
2. 治療の効果をみるため
3. 再発を発見するため
4. ハイリスクな（発生危険度の高い）人のがん発生を発見するため

腫瘍マーカー値の上がり下がりのみで、がんの存在や病態の悪化および回復を判断できるものではありません。最終的な診断は、画像検査や身体所見などを合わせ、総合的に行われます。



腫瘍マーカーの種類

腫瘍マーカーには、次のようなものがあります。



良性の疾患でも腫瘍マーカーは高値を示すことがあります！

がんがないのに腫瘍マーカー値が上昇したり、がんがあるのに腫瘍マーカー値が上昇しない場合があります。腫瘍マーカー検査は、他の検査と同じように、診断のための検査の1つに過ぎません。最終的な診断は、画像検査や身体所見などを合わせ、総合的に行われます。

決して、腫瘍マーカー値の
上がり下がりのみでがんの存在や悪化および
回復を判断できるものではないことを
理解してください。



病気でもなくとも、加齢や妊娠などで高くなります

CEA	加齢と共に上昇、喫煙者で高値
AFP	妊娠後期に高値
CA19-9	Lewis血液型※の影響あり (Le ^{a-b-} 型で低値)
CA125	妊娠前期に高値、月経期に高値
SCC	妊娠経過と共に上昇、黄体期に上昇。喫煙者で高値
PSA	前立腺刺激により上昇
NSE	小児では成人より高値

※Lewis血液型: ABO式あるいはRh式などと同じで赤血球の型の一種です。